

「おおけやき」では、上毛新聞のシュニア俳壇・シュニア詩壇・青春短歌に掲載された本校児童の作品をご紹介します。

(十一月・十二月掲載)

花火大会

六年 中村 幸祐

ドーンと  
ドーンと  
真つ暗な夜空に  
キレイな花火が  
ごうかいに  
のぼっていく姿は  
まるで竜のようで  
ヒュルルルルと  
鳴いている  
そして  
バーンと  
花を咲かせる  
ぼくは花火が大好き  
来年の花火が  
もう待ち遠しい

たいよう

二年 うめざわあまね

たいようはぴかぴかと光っている  
ぴかぴかとわらわらしている  
ぴかぴかとおこっている  
ぴかぴかとあつくさせる  
いろいろなおを見せて  
おもしろい  
あつくなってもえそつだ

洗濯機

五年 萩原 士碧

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ  
うがいをしてる  
ごしごしごし  
はをみがいてる  
じゃぶじゃぶじゃぶじゃぶ  
顔を洗っている  
出したら  
みんなぴかぴかしてる  
太陽ほかほか  
みんなでお昼寝

トウモロコシ

六年 小島 琴美

トウモロコシの葉を  
ていねいにむくと  
そこには  
黄色く輝く  
兄弟たちが並んでる  
お日さま色の  
兄弟たちが  
満面の笑みで  
笑っている  
にこにこ笑顔で  
わははは  
わははは  
みんな  
笑っている  
みんなどいっしょに

バスケットボール

六年 藤田 空

体育館に響くボールの音  
速く強くトントン  
ゆっくり優しいトーン  
バスケットシューズのキュキュと  
審判の笛の音  
応援の声や歓声  
コーチの指示や怒鳴り声  
体育館には、いろいろな音が響いている  
その全部がソクソクとして興奮する  
そんなバスケットが大好きだ



セミの声

六年 茂木菜々美

ミンミンミンミンと  
セミの声。  
けっこううるさく  
聞こえるけれど  
静かに聞いてみるとね  
ゆっくり、おだやかに  
聞こえるよ。  
セミの声は、よく聞くと  
なんだか楽しい音。  
楽しい、楽しいよ。

夏休めない

六年 周東海

夏休みがようやく  
始まった！  
さあ遊びまくるぞ！  
って意気込んでいたのに  
明日も  
明後日も  
明後日も  
宿題という名の  
悪魔・・・  
これじゃあ  
夏休めない



星

六年 林大翔

ぼくは習い事でテニスをしている  
夜6〜9時までだ  
水筒を飲むと、上には星が見える  
きれいだなと星が見える度に思う  
星って明るい  
星ってきれいだ  
星って大きさが一つ一つ違って  
それはそれで良い  
なぜ星は明るいのだと思った

